

令和5年度 鶴嶺公民館主催事業実施報告 (8月～11月)

資料 1

令和5年11月21日時点

1 子ども事業

No.	事業名	方法	事業の概要	開催日	対象	定員	参加者	成果・課題
1	小学生サークル体験	対面	小学生の夏休み期間に、日頃のサークル活動の場を開放し、体験学習を経験させるとともに、世代を超えたふれあいの場にする。 ①少年野球（今宿少年野球部） ②ヒップホップダンス（esperanza） ③フラダンス（Aolani） ④料理（茅ヶ崎市食生活推進団体ばら） ⑤おもちゃづくり（OTO-TOYハウス） ⑥ウクレレ演奏（OTO-TOYハウス） ⑦バトントワリング（Fatina） ⑧オカリナ演奏（オカリーナ湘南） ⑨書道（泉会） ⑩小出川の水質調査（小出川に親しむ会） ⑪てんこく印づくり（鶴嶺てんこく会） ⑫パソコンでメモ帳づくり（パソコン鶴嶺クラブ）	①7/23（日） ②7/26（水） ③7/27（木） ④7/27（木） ⑤7/28（金） ⑥8/1（火） ⑦8/2（水） 8/9（水） 8/23（水） ⑧8/3（木） ⑨8/5（土） ⑩8/9（水） ⑪8/19（土） ⑫8/22（火）	小学生	①15人 ②20人 ③20人 ④12人 ⑤24人 ⑥20人 ⑦30人 ⑧10人 ⑨15人 ⑩20人 ⑪10人 ⑫12人	①8人 ②10人 ③7人 ④12人 ⑤20人 ⑥18人 ⑦23人 ⑧9人 ⑨4人 ⑩10人 ⑪15人 ⑫10人 計146人	申込みが定員の6倍となるサークル体験もあり、夏休みに、子どもたちが参加する場が求めていることが伺えた。 児童の間で感染症が流行し、当日キャンセルが多くなってしまい、キャンセル待ちの児童に連絡できず、参加者が少なくなりました。 ⑨⑩⑫に参加した児童の作品は、公民館ロビーにて展示を行った。
2	夏休み親子料理教室	対面	夏休みを利用し、親子を対象に管理栄養士による講義と、食生活改善推進団体ばらの指導による実習（ピザづくり）を行い、食の大切さを学ぶ。	8/3（木）	小学生と保護者	6組 (12人)	6組 (13人)	夏休みの折り返しの時期に開催したことで、各家庭での食生活を見つめ直し、改善する機会になった。食を通じて、親子や家族との関わり、地域との関わりを深める本講座は、子どもの健やかな心と身体の発達に寄与することができた。
3	プラスチックごみ削減講座 ～地球のために今！！何ができるかな？～ 【5館合同開催メイン会場】	対面とオンラインの併用	プラスチックは便利である一方で、環境への影響があることを学び、「よりすこやかな地球のために、一人ひとり、今何ができるのか」について考える。 協力：花王グループカスタマーマーケティング株式会社 (メイン会場 鶴嶺公民館)	8/5（土）	小学生	各館 20人	鶴嶺：14人 小和田：6人 松林：7人 南湖：1人 香川：0人	親子参加も多かったことから、家庭内でプラスチックごみ削減について考えてもらえるきっかけともなり、現実的な環境への悪影響なども知ってもらえる機会となった。また、市の取組についての質問もあり、市環境部から回答をしてもらうことができ、より深い学びにつなげることができた。
4	子どもの広場	対面	小学生を対象に、工作・お菓子作り・スポーツや野外活動等のふれあいの場を設け、さまざまな体験を通して自立心を養う。季節の風物詩を取り入れ日本の伝統継承の心を養う。年5回を予定。	①9/16（土） ②10/21（土）	小学生	①36人 ②20人	①27人 ②12人	9月は「月見だんごを作ろう」、10月は「楽しい卓球入門」を開催した。アンケート結果から、参加者の半数以上から、初対面の児童と交流したと回答があり、料理作りや運動をするだけでなく、子ども同士の交流の場にもなった。子どもの広場は、年度内に、あと2回実施予定。
5	【中止】 花王エコラボミュージアムオンライン見学会	対面とオンラインの併用	「花王エコラボミュージアム」のオンライン見学会 アタマ・カラダ・ココロを刺激する展示や映像、体験プログラムによって、地球環境のいまや、花王のエコ技術に触れることにより、環境に配慮について学ぶ。	10/11（水）	小学生	30人	0人 (中止)	初めて小学校の秋休みに小学生対象の講座を企画したものの、参加者がいなかった。公民館に来館する小学生に話を聞くと、秋休みは遠出をしたり、習い事がある児童が多かったため、今後は開催時期を検討していきたい。

2 家庭教育支援関連事業

No.	事業名	方法	事業の概要	開催日	対象	定員	参加者	成果・課題
1	乳幼児健康相談	対面	保健師および栄養士が乳幼児の健康に関する指導、助言を行う。 共催：子ども育成相談課	7/27(木) 10/26(木)	乳幼児	—	7月：0組 10月：4組	鶴嶺地区の乳幼児は、保健所で開催する同事業に参加することが多く、参加者は少なかった。 令和5年度から、対象を同じとする「子育ての広場 カルガモ」と同日に開催し、参加しやすさを図っている。年度内に、あと1回実施予定
2	子育ての広場 カルガモ	対面	乳幼児を持つ家庭を対象に子ども室を開放し、憩いの場、コミュニケーションの場を提供する。	毎月第4木曜日	乳幼児の保護者	20人	7月：4組 9人 8月：8組18人 9月：8組18人 10月：11組23人	保護者同士のロコミなどで参加の輪が広がってきている。本事業で初めて公民館に足を運んだという人もおり、子育て世代の憩いの場として、機能してきている。 年度内に、あと5回実施予定
3	【中止】 子育て応援 「美味しいだしで一汁三菜」	対面	子育て世代を対象に、日本の伝統文化である和食の基本、だしの取り方を学び、食習慣を見直すきっかけとしてもらう。	9/7(木)	子育て中の親	15人	0人 (中止)	広報活動として、メール配信やLINE配信、当館で活動している子育てサークルへのチラシ配布、子育て支援センターへのチラシ配架等試みたが、申込者が3人にとどまり、少人数では材料費が賄えないため、中止をした。
4	子育て練習講座 ほしつ☆メソッド	対面	「ほしつ」は「ほめる」「しかる」「つたえる」の頭文字をとった言葉で、子どもへの伝わりやすい言い方・ほめ方・注意の仕方といった「しつけ」を練習（ロールプレイング）する講座（全5回） 共催：こども育成相談課	9/6(水) 9/20(水) 10/4(水) 10/18(水) 11/1(水)	3歳～12歳の子どもがいる保護者	8人	8人	「子どもの気持ちを聞くことが出来た」「問題行動ではなく、年齢的に無理なことをやらせようとしていた。」などの気づきが得られた。
5	子育てしながらウクレレマスター	対面	参加者同士の相互託児によるウクレレ講座。 子育て中は何もできないと諦めている親に、提案型「気づき力」を養成する。（全4回講座）	11/2(木) 11/9(木) 11/16(木) 11/23(木)	子育て中の親	10人	6人	3か月～2歳の子を持つ母親が参加し、相互保育をしながら、ウクレレを練習している。初めてウクレレに挑戦した人もいる中、最終回では同日開催する「子育ての広場カルガモ」にて1曲演奏することになっており、子育て中でも「新たに挑戦する」等の気づきを得られているようである。

3 シニア事業

No.	事業名	方法	事業の概要	開催日	対象	定員	参加者	成果・課題
1	インターネット被害未然防止講座	対面	増加しているインターネット上のトラブルの被害から自身を守るため、疑似体験を通してインターネットに関する知識・情報を習得する。 協力：NPO情報セキュリティフォーラム	9/27(水)	60歳以上	20人	12人	より巧妙になっている詐欺の手口から、自身を守るための知識を習得し、パソコンを使い詐欺の疑似体験もすることができ、参加者から大変役になったという声をいただいた。
2	元気な毎日はお口の健康から 「シニアのための口腔ケア講座」	対面	お口の健康を守る「歯、歯ぐき、舌、唾液分泌」についての知識と、口腔ケアの要といわれる各パーツごとの「セルフケア」の方法を学ぶ。 協力：花王グループカスタマーマーケティング株式会社	10/25(水)	60歳以上	20人	11人	口腔ケアと健康の関係性と、自宅でできる口腔ケアを学び、健康意識を高める講座となった。
3	シニア向け 買う前にわかる！スマホ体験教室	対面	興味はあるが使えるか心配、基本的な使い方を知りたいシニアを対象に、スマホに実際に触れ、日常よく使う機能を中心に、基本的な使い方を学ぶ。 協力：ソフトバンク株式会社	11/9(木)	これからスマホを使い始めたい人	20人	10人	これから購入を検討している方だけでなく、すでにスマホを持っている方も参加し、基本操作の理解を深めることで、スマホを使うハードルを下げることができた。

4 博物館連携事業

No.	事業名	方法	事業の概要	開催日	対象	定員	参加者	成果・課題
1	小出川植物標本づくり	対面	博物館の学芸員が講師となり、小出川堤防に植生している植物を採取し、植物標本づくりを行う。	8/2(水) 8/23(水)	小学校3～6年生	10人	4人	単に植物標本をつくるだけでなく、標本づくりの意義を学ぶことができた。 参加者が作った標本は、博物館の交流スペースに展示した（展示期間：8月25日～9月18日）。

5 地域課題解決等事業

No.	事業名	方法	事業の概要	開催日	対象	定員	参加者	成果・課題
1	卓球開放	対面	身近な卓球を気軽にできるよう、卓球サークルの協力の元で、講義室を卓球場として一般開放する。	毎月第2・第4日曜日	一般	12人	8月：8人, 9人 9月：7人, 10人 10月：6人, 10人 11月：5人	小学生から80歳代まで、幅広い年代が参加した。つるみね卓球同好会の指導・協力のもと、知り合い同士だけでなく、初対面の参加者とも交流できるよう進めている。年度内に、あと9回（月2回）実施予定
2	海藻おしば教室	対面	SDGs、特に海の汚染について学びながら、多種類の海藻を自由にレイアウトして自分だけのおしばを作る。	8/9（水）	小学生以上	16人	13人	海藻でおしば（ポストカード）づくりを楽しみながら、児童と保護者が身近な海が汚染されていることを学ぶ機会となった。
3	親子で防災つるみね	対面	突然やってくる自然災害（地震、台風、洪水）等の発生時に、慌てず落ち着いて身を守る行動をとることができるようになることを目指す。親子で防災カード、家族ルールづくりに取り組んでもらう。	8/19（土）	小学校3～6年生と保護者	20組	7組15人	なかなか家庭では話さない災害時の行動を家族で話し合い、日常生活で意識するところを知る機会となった。
4	つるみねミュージックインサマーライブ	対面	地域の音楽文化を育てる支援をするとともに、日頃の練習成果を発表する機会とし、また音楽を通しての仲間づくりの場にする。	8/26（土）	中高生～概ね40歳代	—	出演者 94人	日頃の成果を地域の方に発表するだけでなく、お互いの発表を聞き合うことで、出演者にとっても刺激を得る機会となった。
5	陶芸教室	対面	主に陶芸経験のない人たちを対象に、陶芸の基礎と作品成形の基本を学ぶ。	9/18（月） 10/1（日）	中学生以上	15人	12人	初めて陶芸作品を作る参加者が多かったものの、自分のイメージしたものを作り上げていくモノづくりの楽しさを感じてもらえた。
6	体幹を鍛えるピラティス講座	対面	「健康的にスリムになりたい」「無理せず身体を動かしたい」という人を対象に、リハビリを目的として生み出されたピラティスで、年齢や経歴を問わず安全なエクササイズを楽しむ。	10/9（月）	一般	15人	11人	本講座をきっかけに、自宅で一人で取り組めるレベルになることを目標としていたが、そこまでの習得に至っていないことがアンケート結果からわかった。次年度実施する際には、工夫したい。
7	癒やしのハーブ講座	対面	心と体を癒す効果のあるハーブを使って、ハーブの基礎知識、活用法を学ぶ。	①10/12（木） ②11/14（火）	一般	①10人 ②12人	① 8人 ②11人	①「ハーブのお話と私だけのモイストポップづくり」と②レモングラス香るスワッグを作ろう」を開催した。自宅でハーブを育てている参加者も多く、その活用方法を学ぶ機会にもなった。
8	異文化交流講座 知ってみたいよその国～ドミニカ共和国～	対面	ドミニカ共和国出身の方を講師として招き、郷土料理を作って食事をとりながら、文化や習慣の違いを知り、国際交流を図る。	11/4（土）	高校生以上	12人	14人	ドミニカ共和国の歴史や文化についての話の後に、「ポジョ ギサード（鶏肉料理）」等を作り食事をしながら交流を図ったことで、ドミニカ共和国の理解が深まり、文化にも触れるよい機会となった。
9	みんなでやるから楽しい グラウンド・ゴルフ体験教室	対面	萩園第三公園を活用し、地域の高齢者を対象に体を動かす機会の一つとしてグラウンド・ゴルフを取り入れ、お互いに楽しく交流する。	11/16（土）	一般	20人	13人	初めて主催事業で行った事業だったが、グラウンド・ゴルフ協会指導員のもと、打ち方やルールを学び、コースをまわりながら適度な運動をしつつ、参加者同士で応援したり応援されたりと交流もできた。アンケートでは次回の開催要望もあった。

6 学習成果活用・学習情報提供事業

No.	事業名	方法	事業の概要	開催日	対象	定員	参加者	成果・課題
1	古典文学講座 第1回『紫式部日記』 第2回『源氏物語』	対面	『紫式部日記』と『源氏物語』を読み解き、平安時代の宮廷社会の文化・習慣・ものの見方に触れる。	9/16（土） 9/17（日）	一般	各回50名	第1回：27人 第2回：26人	古典文学講座は、平成15年度から続く人気講座でリピーターも多い。文学作品に触れ教養を深める講座として、継続実施の声が多く寄せられた。
2	公民館フェスタ	その他	日頃公民館を利用したことのない人への広報活動を、公民館5館で行う。	11/12（日）	一般	—	—	防災フェスティバルと環境フェアで市役所・中央公園がにぎわっている時に、イオン茅ヶ崎中央店で公民館紹介パネル展示を行い、開催事業のチラシを置くなどPRを行った。次年度は、ワークショップも行うなど、より効果的なPRに努めたい。
3	つるみねオープンサークル	対面	鶴嶺公民館でのサークルの活動を、一般利用者に体験してもらおう機会を設ける。サークル会員の増加と、公民館利用者の増加を目指す。	11/19（日）	中学生以上	12人	1人	鶴嶺てんこく会による「消しゴムはんこで年賀状づくり」を開催した。公民館でのサークル活動への興味関心を高めることができた。
4	ロビー展	その他	公民館利用団体の活動内容や成果をロビーを活用し、展示し発表する場にする。	随時	—	—	—	9/1～9/15 県立茅ヶ崎支援学校（学校紹介） 9/1～9/30 小学生サークル体験作品展示 9/16～9/30 鶴嶺てんこく会（作品展示） 11/10～11/24 デッサングループ・アミーゴ（作品展示）

7 公民館利用者活動支援事業

No.	事業名	方法	事業の概要	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1	利用者懇談会	/	公民館利用者団体で組織される懇談会 (意見交換会のほか、草取り、大掃除等)		○	草取			○	草取		大掃除		○	
2	利用者懇談会5館協議会		5公民館の利用者による意見交換会				○								

8 次世代ネットワーク事業

No.	事業名	方法	事業の概要	開催日	対象	定員	参加者	成果・課題
	実績なし							

9 公民館運営審議会等

No.	事業名	方法	事業の概要	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1	公民館運営審議会	対面	公民館における主催事業等の企画実施についての調査・審議等や館長の諮問に応じ答申を行う。				7/26				11/22				3/22 予定

10 施設維持管理

No.	事業名	方法	事業の概要	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1	電気設備改修工事	/	経年劣化による不慮の故障を未然に防ぎ、施設の強靱化を図るため、防災設備改修工事及び弱電設備改修工事を検討										1/4-		
2	施設維持管理及び設備保守点検				適宜実施 (保守・点検・修繕)										